

|                    |                  |
|--------------------|------------------|
| 島根原子力発電所 2 号炉 審査資料 |                  |
| 資料番号               | PLM-11 改 02      |
| 提出年月日              | 平成 30 年 9 月 19 日 |

平成 30 年 9 月 19 日  
中国電力株式会社

島根原子力発電所 2 号炉 審査会合における指摘事項の回答一覧表

| No.   | 指摘事項  | 回答                           |
|---|---|------------------------------|
| 13-1<br>共通事項<br>(平成 30 年 7 月 4 日第 13 回審査会合)   | 高経年化技術評価にかかる全体業務についてフローを作成し説明すること。  | PLM-01-2<br>PLM-01 改 06      |
| 13-2<br>共通事項<br>(平成 30 年 7 月 4 日第 13 回審査会合)   | これまでのトラブル情報等の島根 2 号炉 P L M 評価への反映プロセスについて説明すること。                          | PLM-01-2<br>PLM-01 改 06      |
| 13-3<br>熱時効<br>(平成 30 年 7 月 4 日第 13 回審査会合)    | 製造時検査および現状保全について、詳細に説明すること。特に製造時のガンマプラグ等の溶接箇所について説明すること。                  | PLM-02-2 改 03                |
| 13-4<br>熱時効<br>(平成 30 年 7 月 4 日第 13 回審査会合)    | 検査を理由に、仮想欠陥を想定した破壊評価をしなくてよいということであれば、その妥当性について説明すること。                     | -                            |
|   | 方針説明  | PLM-02-2 改 03                |
|   | 詳細内容説明  | 別途回答                         |
| 13-5<br>コンクリート<br>(平成 30 年 7 月 4 日第 13 回審査会合) | 凍結融解について、経年劣化要因の整理にあたっての考え方を実施手順を踏まえて説明すること。また、凍結融解を想定不要と判断した根拠についても示すこと。 | PLM-03-2 改 01<br>PLM-03 改 05 |
| 13-6<br>コンクリート<br>(平成 30 年 7 月 4 日第 13 回審査会合) | (排気筒の) 疲労評価について、詳細を説明すること。  | PLM-03-2 改 01<br>PLM-03 改 05 |
| 13-7<br>コンクリート<br>(平成 30 年 7 月 4 日第 13 回審査会合) | 熱による遮蔽能力低下の評価に用いた温度分布解析の内容について詳細を説明すること。                                  | PLM-03-2 改 01<br>PLM-03 改 05 |
| 13-8<br>コンクリート<br>(平成 30 年 7 月 4 日第 13 回審査会合) | 塩分浸透における鉄筋の腐食減量の算出過程について詳細を説明すること。  | PLM-03-2 改 01<br>PLM-03 改 05 |